

平成29年度 第1回医療福祉機器技術研究交流会 開催報告

「非侵襲センシング技術が拓くヘルスケアの将来と中国地域の研究シーズ」

主催：公益財団法人ちゅうごく産業創造センター

【概要】

公益財団法人ちゅうごく産業創造センターは、平成29年8月2日(水)、広島市のホテルセンチュリー21広島において「平成29年度 第1回医療福祉機器技術研究交流会」を開催しました。本交流会は、中国地域企業のヘルスケア・医療福祉機器ビジネスへの新規参入や新製品・事業化につながる出会いの場になることを期待して、ヘルスケア・医療福祉分野の最新情報や大学等における研究シーズを紹介するものです。

「ヘルスケア」をテーマとする第1回は、「非侵襲センシング技術が拓くヘルスケアの将来と中国地域の研究シーズ」と題して開催しました。

基調講演では、東京医科歯科大学の三林 浩二 教授から、研究室での開発例も含めて非侵襲センシング技術開発の最新動向やセンシング技術を応用したヘルスケアの将来像についてご紹介いただきました。講演では、株式会社ミルウス代表取締役社長の南 重信 氏に、センサから収集されるデータの統合や利活用システムの開発でヘルスケア分野を開拓する大学発ベンチャーの活動を紹介していただきました。

参加者からは、「非侵襲センシングの最新技術や今後のヘルスケア分野の動向をよく理解できた」、「将来の健康情報管理の重要性を認識できた」といった声をいただきました。

研究シーズ紹介では、山口大学の江 鐘偉 教授から、心音・呼吸音の情報を生じた睡眠時無呼吸症候群の計測システム開発について、続いて県立広島大学の川原田 淳 教授から、ベッドや浴槽など生活の中で無意識なセンシングを行うユビキタスヘルスケアシステムの開発について、最後に岡山県立大学の山内仁准教授から、カメラ画像の解析と学習システムを利用した高齢者の見守りシステムの開発について紹介していただきました。

研究シーズ紹介に3社が興味を示され、今後、フォローアップや事業化検討などマッチングを進めて参ります。

【講演風景】



【日程・場所】

日時：平成29年8月2日(水) 13:30~17:10

会場：ホテルセンチュリー21広島（広島市南区的場町 1-1-25）

【参加者】 80名

【プログラム】

- 基調講演 「非侵襲センシング技術開発の最新動向とヘルスケアの将来像」
東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授 三林 浩二 氏
- 講演 「個人主導のデータ統合でヘルスケア分野を開拓する大学発ベンチャーの活動」
株式会社ミルウス 代表取締役社長 南 重信 氏
- 研究シーズ紹介1 「心音・呼吸音の情報を生じた在宅健康診断モニタリングシステムの開発」
山口大学大学院 創成科学研究科 機械工学分野 教授 江 鐘偉 氏
- 研究シーズ紹介2 「生体情報のセンシングに基づく在宅ユビキタスヘルスケアシステムの開発」
県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学科 教授 川原田 淳 氏
- 研究シーズ紹介3 「カメラ画像を用いた学習に基づく高齢者の見守りシステム」
岡山県立大学 情報工学部 人間情報工学科 准教授 山内 仁 氏



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>